

【主な用途】

- 各種ケーブル・パイプラインなどの敷設位置調査
- 海底遺失物等の捜索
- 海底資源探査・地質構造探査
- 沈船や不発弾などの帯磁物捜索調査

曳航式セシウム磁力計

浅海域～水深1500mまでの曳航型全磁力測定
サイドスキャン後方より曳航し、安定した高度を実現

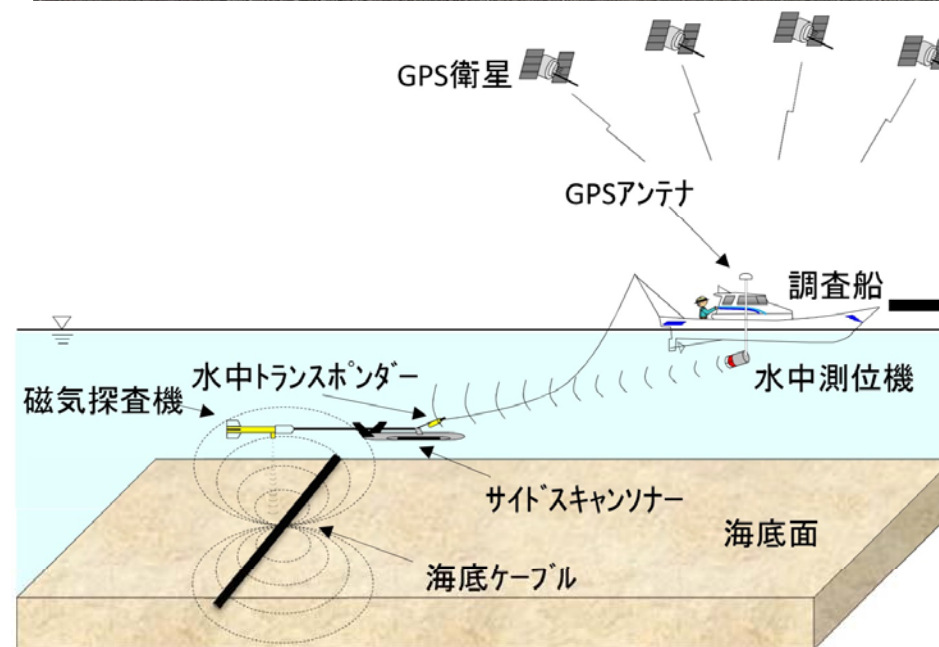
ジオメトリック社製 G880型 / G882型

磁気探査機 機器仕様一覧

機器名称	G880 / G882
メーカー	GEOMETRICS 社(アメリカ)
感度 (G880)	サンプリング0.1秒間隔で使用の場合：0.05nT サンプリング0.2秒間隔で使用の場合：0.03nT サンプリング1.0秒間隔で使用の場合：0.01nT
感度 (G882)	0.004nT/Hz RMS サンプリング間隔1秒の場合：0.02nT
測定レンジ (G880/G882)	17,000～100,000 nT 20,000～100,000 nT
方位誤差 (G880/G882)	±0.5nT / ±1nT
精度 (G880/G882)	±2nT / <3nT
曳航体耐圧 (G880/G882)	1500m / 2750m
曳航体重量(G880/G882)	17.2kg / 18kg
曳航体外寸G880/G882)	L2.11×φ0.11m / L1.37×φ0.07m
オプション	水中測位機によるリアルタイムな曳航体位置計測



磁気探査曳航体 (上：G880 下：G882)



オーシャンエンジニアリング株式会社

・本社 〒305-0841 茨城県 つくば市御幸が丘43
TEL : 029-897-3151 FAX : 029-897-3152
E-mail : ocean-eng@pop17.odn.ne.jp
HP : <http://www.ocean-eng.com>

オーシャンエンジニアリング株式会社

<本システムの特徴>

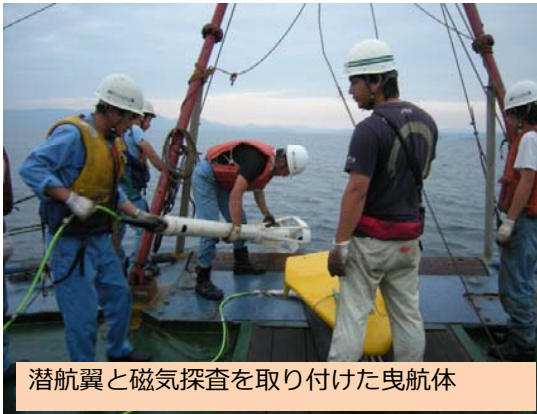
- システムが**コンパクト**な為、浅海域の**小型船**による測定が可能
- 高感度の光ポンピング磁力計で主に海底ケーブルやパイプラインの探査に最適
- 曳航式であるため、動揺が少なく良質な磁気データが取得できる。
- サイドスキャンソナー後方より曳航可能で水深1500mまでの調査が可能



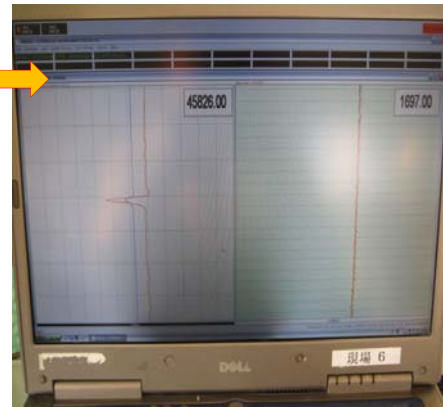
<オプション>

潜航翼により水深1500mまで調査可能（所有ウィンチ使用）

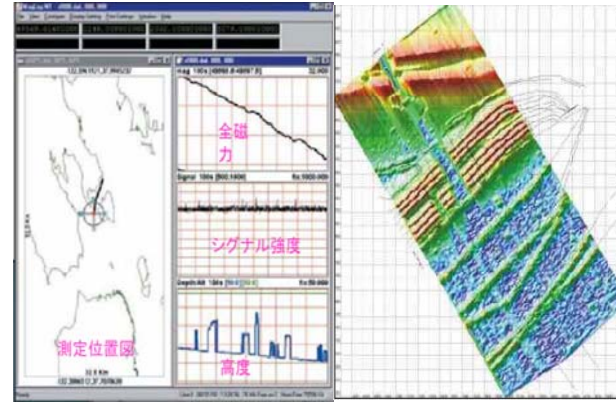
サイドスキャンソナー後方での曳航の他、磁気探査機単体での使用も可能



潜航翼と磁気探査を取り付けた曳航体

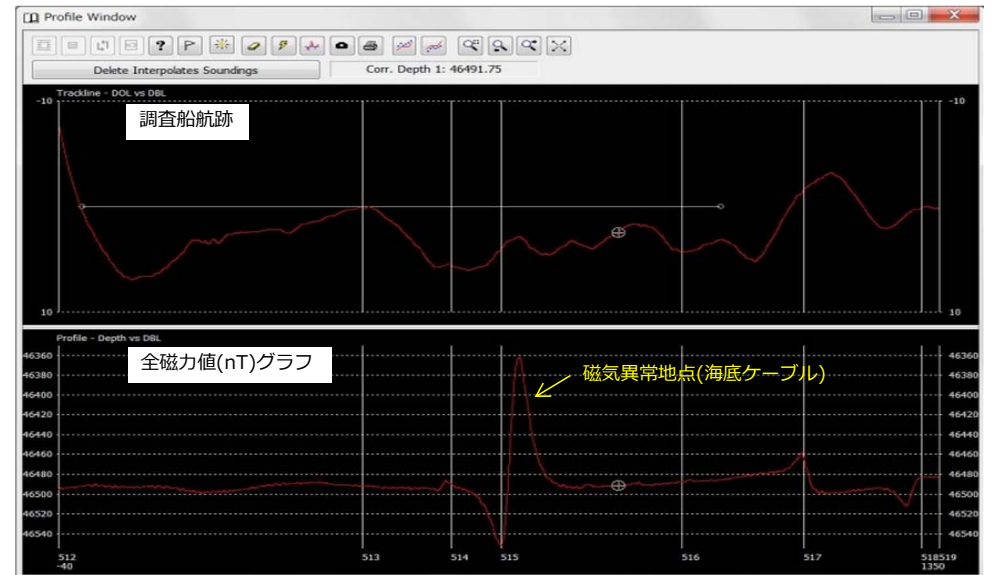


<記録例>



データ収録時には、GPSデータによる測定位置と全磁力値、シグナル強度、曳航高度、深度を表示。リアルタイムにデータ QCや磁気異常箇所を検出を行います。

解析は、ノイズ除去、IGRF補正、極磁力変換、地形補正、フィルター処理などを施し、見掛け帯磁率分布などを計算し、マッピングします。既存ケーブルや埋没物などを抽出しやすいように、磁気異常分布をビジュアルに表示します。



同時曳航の場合サイドスキャンソナー記録も収録可能
海底面に敷設された海底ケーブル記録
ケーブル交差箇所は、既存箇所の特定が必須

記録例(上图)の磁気探査船航跡(ケーブルに
垂直方向)

